

安全・安心な学校生活のために ～危険から自分を守ろう～

チェック1 知らない人から声をかけられました

① 学校の帰り道、知らない人から、「おこづかいあげようか。」と声をかけられました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ウ:知らない人にはついていかない。

エ:近くにいるおとなや家に帰ってから家の人に、声をかけられたことを伝える。

いわゆる声かけ事案です。知らない人に声をかけられた時の対応について、必要な知識と行動の仕方を身に付けさせてください。子どもを誘う手口はいろいろあります。

- ・子どもの好きなもので誘う。(菓子・動物・ゲーム等)
- ・助けを求める。(道を尋ねる。)
- ・緊急事態を装う(家族の事故を装い病院へ等)
- ・大人の世界へ誘発する。(モデル・タレント、写真撮影等)

知らない人にはついていかない。近くの人に伝える等の行動が必要です。

② 遊んでいるとき、知らない人に車から「家の人にたのまれて、むかえに来たよ。」と声をかけられました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ウ:車からすぐにはなれる。

車に連れ込まれる事案が発生しています。道を聞かれることなどがあっても、絶対に車に近づかないように注意することが大切です。

③ 知らない人に連れて行かれそうになりました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ア:走ってにげる。

ウ:大声を出して、助けを求める。

エ:近くのお店や家になげこむ。

オ:防犯ブザーやホイッスル(笛)をならす。

気を付けていても、こわい目にあうことがあります。また、自分の目の前で友だちがこわい目にあうこともありますので、危険な場面での行動の仕方について、普段から考えておくことが大切です。防犯ブザーは、時々鳴らして音が出ることを確認してください。いざという時、すぐ使えるよう、スカートやズボンのベルト、ランドセル等の手の届く位置につけておくようにしましょう。また、外出時には、防犯ブザーの代わりにホイッスル(笛)なども効果的です。

チェック2 友だちと遊びに行くとき、遊んでいるとき

④ 友だちから、遊びに行こうとさそわれました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ア:家の人に話してから出かける。

ウ:家の人がいないので出かけない。

エ:家の人がいないので、どこに行くのかメモに書いてから出かける。

外出時の約束についてご家族でよく話し合い、お子さんが黙って出かけることのないように十分ご指導ください。連絡が取れない場合はメモで伝える等、事前に連絡方法の約束をしておくことが大切です。

⑤ 公園で遊んでいるときに、友だちが「帰ろう」といいました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ア:みんなと一緒に帰る。

一人で行動すると様々な危険なことに巻き込まれる可能性が高くなります。「いざ」という時に助けを呼ぶこともできません。防犯を常に意識して行動できるようご指導ください。また、様々な状況と対応の方法について話し合いを深めてください。

チェック3 家で一人にいるとき

⑥ 家で一人で留守番をしていると、玄関のチャイムが鳴りました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ア:ドアのかぎをあけない。

一人で留守番していることを知っていて、玄関のチャイムを鳴らし、ドアが開いた瞬間に、中に入り込む事件も発生しています。くれぐれも、むやみにドアのかぎを開けることのないよう、ご指導ください。

チェック4 携帯電話やスマホに知らない人から連絡が来たら

⑦ ある日、全く知らない人から「友だちになりませんか。」というメールが届きました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

イ:メールを無視する。

ウ:メールを削除する。

心当たりのないメールには、絶対に返信しないようにしましょう。携帯電話やスマホ等について、ご家庭で常に利用の仕方について確認し、正しいルールを身に付けられるよう指導することが必要です。

⑧ 無料アプリのやり取りで仲良くなった、会ったことのない友だちの友だちから、「あなたの写真を送ってほしい。」とたのまれました。あなたならどうしますか？

【望ましい答え】

ウ:家の人に相談する。

エ:写真は送らない。

スマホの無料通信アプリを利用した様々な犯罪やトラブルが増加しています。スマホで撮った写真には、位置情報など写真に写ったもの以外の情報が多く含まれています。安易に送信した1枚の写真から住んでいる場所が特定され、ストーカー被害にあうこともあります。また、ブログやSNS等を通して、ネット上に発信した何気ない情報の中から個人が特定され、犯罪に巻き込まれるケースがあります。例えば、特定のショッピングモール等に頻繁に行っている情報から行動範囲が限定できます。さらに、特定のグループだけ公開しているから大丈夫と想着いても、インターネット上に発信する以上、悪用される可能性はゼロではありません。ご家庭で常に携帯電話やスマホ等の利用の仕方について確認し、正しいルールを身に付けられるようご指導ください。

チェック5 防犯ブザーについて

⑨ どんなときに防犯ブザーを持っておけばいいですか？

【望ましい答え】

ウ:遊びに行くときや、習い事に行くときも持っていく。

防犯ブザーは、学校の登下校以外の時間帯でも常時携帯するようにご指導ください。また、時々鳴らして音が出ることを確認してください。いざという時、すぐ使えるよう手の届く位置につけておくようにしてください。

⑩ 防犯ブザーはどこにつけておけばいいですか？

【望ましい答え】

イ:いつでも使えるように手の届くところにつけておく。

防犯ブザーは、常時携帯するようにご指導ください。また、時々鳴らして音が出ることを確認してください。いざという時、すぐ使えるよう手の届く位置につけておくようにしてください。

チェック6 知っていますか

⑪ みんなのまちには、こわい目にあったり、こわい目にあいそうになったときに、助けを求めることができる家や店や交番などがあります。家の近くのどこにあるか、家の人と確かめておきましょう。

【望ましい答え】

すべての場所を知っている。

いざという時に備えて、「こども110番の家」、「こども110番のお店」等をお子さんと一緒に確認していただきますようお願いいたします。

チェック7 約束しよう

⑫ みんなの家や学校の近くにも危険な場所があります。どこにあるのか、家の人と確かめておきましょう。

- ・地域や学校等で行っている防犯活動を把握し、活用することが安全確保に役立つと考えます。お子さんと一緒に調べ、内容の把握を行ってください。
- ・あいさつを励行し、近所の方や地域で防犯活動されている方々と顔見知りになることが子どもたちの安全を守るために重要です。
- ・日頃から通り慣れている場所でも、子どもたちにとって危険な場所はたくさんあります。買い物に出かけた時など、実際に目で見て確認してください。
- ・人間には、自分だけは大丈夫と思う傾向があります。危険な事案は全国各地で起こっており、誰の身にもふりかかる可能性があります。防犯は「わがこと感」を持つことが大切ですし、自分で考えて危険を予測したり、回避しようとする態度、姿勢を育むことが重要です。

⑬ 家の人と話して、約束した事を書いておきましょう。

日頃からお子さんと話す機会を持つことで、約束の確認をお願いいたします。

チェック8 確認しよう

1. お子さんが外出するときは①だれと、②どこに、③何をしに、④いつまでにの4つを必ず伝えてから出かけることを日頃からご指導ください。日頃の習慣がお子さんを危険から守ることにつながります。
2. 防犯標語は、犯罪に巻き込まれないための対処法を子どもになじみやすい形でまとめたものです。お子さん自身に自分のことは自分で守るという意識を持たせましょう。
3. 他にも防犯標語として、「いいゆだな」があります。日常の行動にあてはめながら覚えるようにすることが必要です。
 - い・・・ひもでぶら下げたかぎをランドセルの横や服の上から見えるようにしない。
 - い・・・不審者がついてきていないか確かめる。特に子どもがエレベーターを利用するときに注意が必要。
 - ゆ・・・郵便受けに新聞や手紙がたまっていると、留守がちな家だと思われる。
 - だ・・・不審者に、家に誰かいると思わせる。
 - な・・・鍵を開けた時に、不審者に中に入られないように気を付ける。

※エレベーターホール等に見かけない人がいないか周囲を確認する。
 ※不審者を発見した時は、管理人や管理組合の人に知らせる。
 ※エレベーターは、非常ベルや各階のボタンを押せる位置に乗る。
 ※後ろから襲われないように壁を背にして乗る。
 ※知らない人と二人だけで乗った時は直近の階でエレベーターを降りる。

摂津市 小中学生 スマホ・携帯利用宣言

- (その1) ながらスマホはやめよう
(その2) 月に1回 家族会議

平成27年7月28日(火)に「平成27年度児童会生徒会代表者の集い」を開催し、市内すべての小中学校の児童会・生徒会の代表者が集まり、スマートフォンや携帯電話の利用について話し合いました。

話し合った結果をもとに、上記2項目が「摂津市 小中学生 スマホ・携帯利用宣言」として採択されました。

その1は、食事しながら、勉強しながらのように、スマホ・携帯をいつまでもダラダラと利用するのではなく、けじめを持って使おうという思いが込められています。また、歩きながら等の利用は、事故につながるおそれがあり、特に自転車に乗りながらの使用は「摂津市自転車安全利用倫理条例」でも禁止されています。

その2は、スマホ・携帯でのコミュニケーションではなく、家族が集まって直接話し合う時間を大切にしようということや、スマホ・携帯の使い方を家族と話し合うことで、自分の一日の生活を見つめ直そうという思いが込められています。

みんなで守ろう「5つの約束」

大阪府ではこども110番運動として、「5つの約束」という、5項目の約束を子どもたちに広めています。

普段の生活から危険な場面に遭遇したときまで、この「5つの約束」をきちんと守って安全・安心な環境で子どもが地域で活動できるよう、保護者の方も一緒に覚えてください。